

プログラム・ラインナップ

自律型AMLプログラムによってさらなる前進へ

NICE
ACTIMIZE

日時: 2020年2月6日(木)
13:00~18:00(受付開始: 13:00)

アジェンダ

13:00 ~ 13:30	受付開始
13:30 ~ 13:35	歓迎の挨拶 神田 紀昭 カントリーマネージャー NICE Actimize
13:35 ~ 14:15	AMLと制裁の未来: 展望と戦略 金融サービスおよびフィンテック産業全体は変化しており、デジタルトランスフォーメーションと破壊的イノベーターが業界を作り変えている。自律型AMLプログラムによって、企業は競争力を保つ自信と敏捷性を得ることができる。 リチャード・ツアイ AMLプロダクト・マーケティング担当ディレクター NICE ACTIMIZE
14:15 ~ 14:55	専門家に尋ねる I : 保険業におけるFinancial Crime(金融犯罪)への取組み 保険業におけるFinancial Crimeへの取組みについて、他業界事例、海外事例を交えて説明する。また、日本における課題やその取組み方法についても言及する。 今野 玲 理事 パートナー 日本アイ・ビー・エム株式会社
14:55 ~ 15:25	金融機関における自律的な マネー・ロンダリング及びテロ資金供与対策 大野 徹也氏 弁護士 プロアクト法律事務所
15:25 ~ 15:45	休憩
15:45 ~ 16:15	専門家に尋ねる II : 金融機関のAML対策とテクノロジー規制適合性、実効性、そして効率性 味田 修一郎 ディレクター 有限責任あずさ監査法人
16:15 ~ 16:45	専門家に尋ねる III : 『実効性と費用対効果』 国内中堅AML/CFT市場への挑戦 増田 武史 事業本部 事業開発部長 株式会社アイティフォー
16:45 ~ 17:25	金融活動作業部会(FATF)による審査の影響ー 日本以外の国の、実際のケーススタディの振り返り。 2019年11月に行われたFATF審査の後、おそらく2020年6月に全体会合で討議が行われる。全体会合では、日本のAML/CFTシステムの有効性およびFATF勧告の日本の遵守度合いを詳しく説明した対日相互審査報告書について討議を行う。討議に用いられる報告書はFATFの評価基準に基づいている。評価基準は日本に対して、FATF勧告の各項目についての技術的な遵守状況に加えて、どのAML/CFT施策が実行されたかについて有効性を検討することを求めている。全体会合では、日本におけるAML/CFTの枠組みについての重要な調査結果、優先されるアクション、ならびに勧告が討議される。このセッションでは、審査が会社組織に与える影響についての知識および予測を参加者が得ることを目的に、他の国において経験した事柄について議論する。 マシュー・フィールド アジア太平洋市場ディレクター アンチマネーロンダリング担当 NICE ACTIMIZE
17:25 ~ 17:55	AMLソリューションの実演デモー 自律型AMLソリューションがどのように貴社のAMLプログラムをより効果的かつ効率的にするか、についてのご紹介 斉藤 麻由子 プリセールス NICE Actimize
17:55 ~ 18:00	閉会の言葉 神田 紀昭 カントリーマネージャー NICE Actimize